

こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします



ハンサムな、でも
おろかな王さま

ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Janie Forest

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Lyn Doerksen

60話の第18話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ しゃ たにん う かね ばなし また まよ しゃ
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

イスラエルでリーダーであったサムエルは、ひと々とさばひととして、みんなに正しいこと、正しくないことを教えていました。でもね、そのサムエルもだんだん年をとってきました。そこでサムエルは、

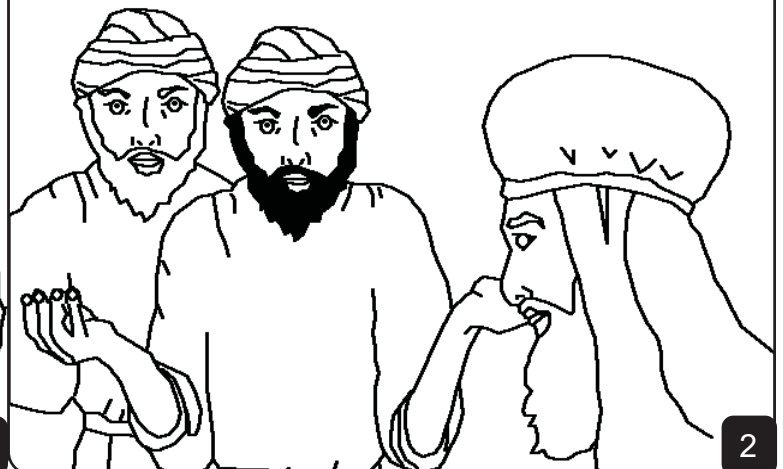
ふたり
2人のむすこに、かれの代わりをさせることにしました。神さまに仕え、イスラエルの人々を裁く人となるようにね。けれども、むすこたちは、あまりよくない人たちだったのです。かれらは、お金大好きなのです。

かれらは、主^{しゅ}に仕えないで、



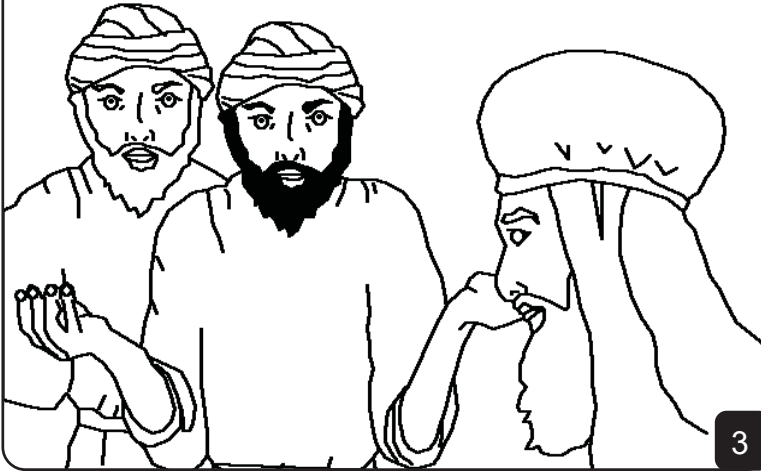
1

ひと々とさばひと
イスラエルの人々は、サムエルのむすこたちがとても悪く、ひどい行いばかりしていたのでほんとうにたいへんです。



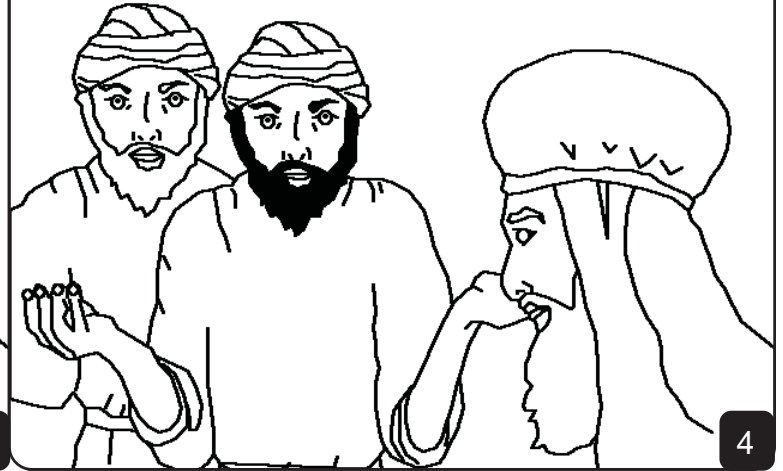
2

お金をもうけることばかり考えているかれらの裁きは、
正しく行われませんでした。人々は、裁いてもらうたびに、
サムエルのむすこたちにお金を払わなければなりません。



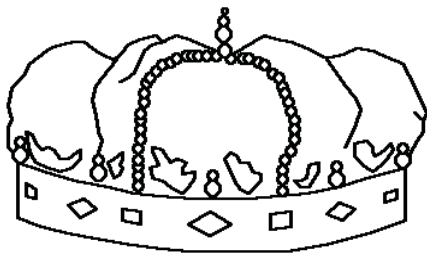
3

このままじゃたいへんですね。何とかしなければ・・・。そこで、ある日のこ
と、お年よりたちがあつまり、何やらそうだんしてサムエルにたのみました。



4

「ぜひ、わたしたちを正しく裁くあたらしい王さまを、与えてください。」
お年よりたちは、サムエルに何度もつよく言いました。かれらは、
サムエルの悪いむすこたちに、自分たちを裁いてもらうのは、
もうまっぴらでした。かれらは、
ちょうどイスラエルのまわりの国々と
同じように王さまがほしかったのです。



5

これを聞いたサムエルは、怒りました。
「イスラエルには、

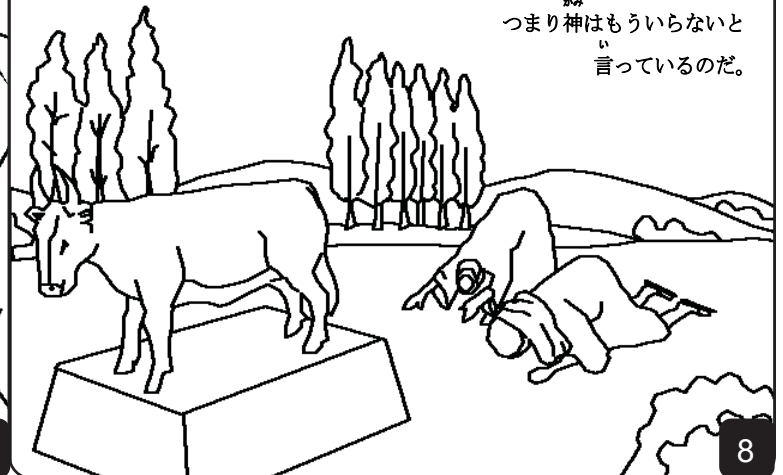
もう王さまがいらっしゃる
ではないか。」と言
ってね。神さまは、何でも
おできになって、いつまでもいら
っしゃる方です。そして、わたした
ちをずっと支配してくださっているの
です。その昔、神さまは、エジプトでどれ
いとなり苦しんでいたイスラエルの人々を、

6

そこで、サムエルは祈りました。すると、神さまが答えてくださいました。
「サムエル、イスラエルの人々は、あなたのことをいらないと
言っているの
ではないのだよ。わたしのことを、
つまり神はもういらないと
言っているのだ。」

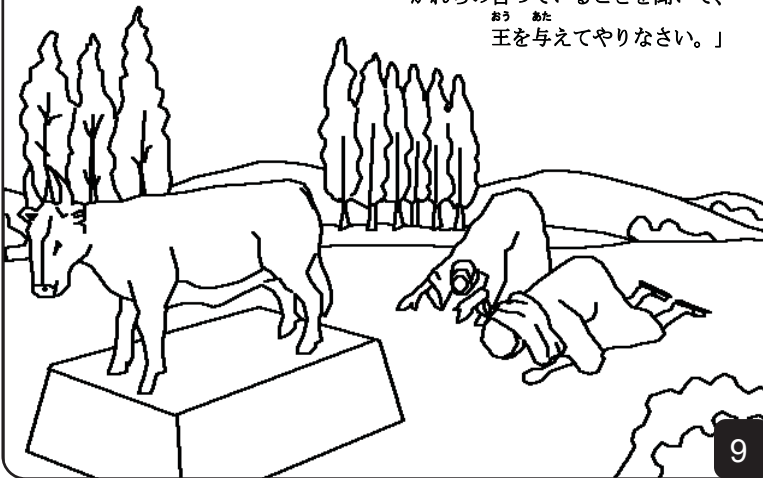
自由にして
ください、
そこからのがれる
ために、紅海に道をつくり、
わたらせてくださったのでしたね。
それから、神さまはイスラエルに
すばらしい土地をくださったのです。
みんなすっかり忘れていたよ
うですけれど・・・。

7



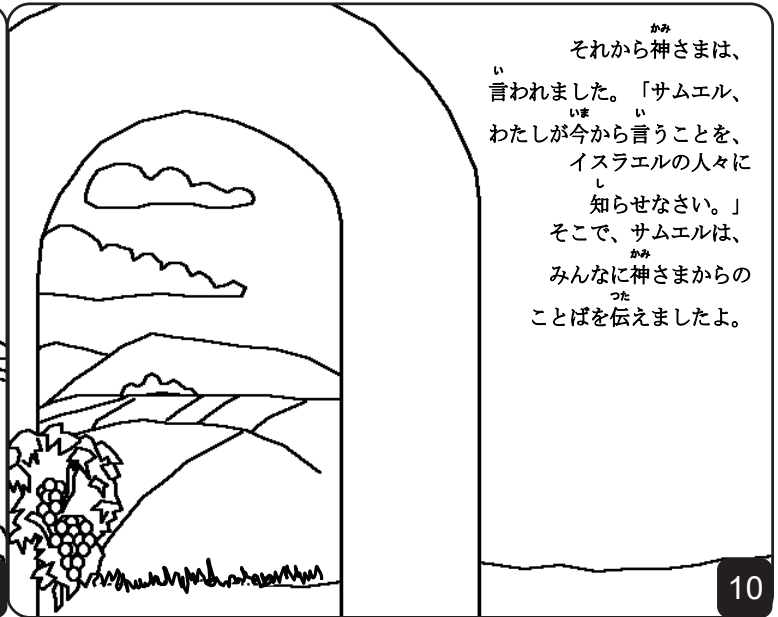
8

わたしは、もうかれらを支配しなくてもよいのだ。かれらは今、わたしではなくて、ほかの神につかえているのだから。さあ、サムエル、かれらの言っていることを聞いて、王を与えてやりなさい。」



9

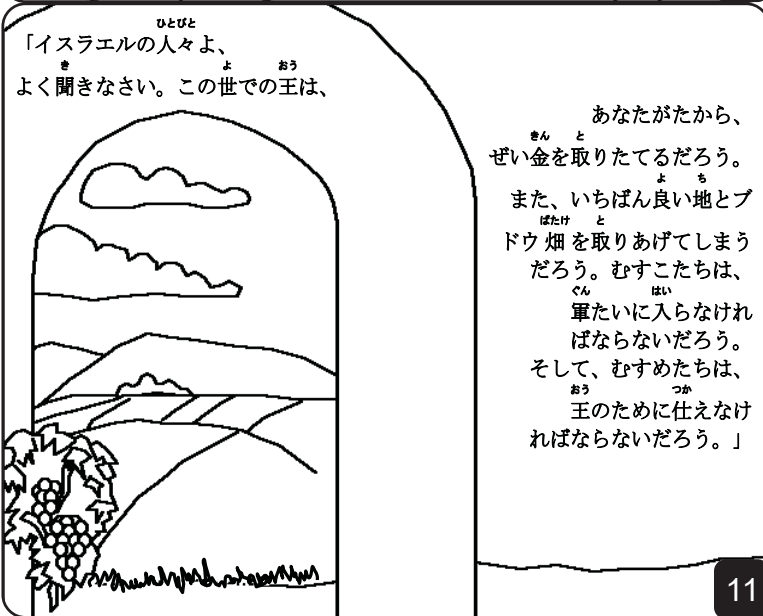
それから神さまは、言われました。「サムエル、わたしが今から言うことを、イスラエルの人々に知らせなさい。」そこで、サムエルは、みんなに神さまからのことばを伝えましたよ。



10

「イスラエルの人々よ、よく聞きなさい。この世での王は、

あなたがたから、ぜい金を取りたてるだろう。また、いちばん良い地とブドウ畑を取りあげてしまうだろう。むすこたちは、軍たいに入らなければならぬだろう。そして、むすめたちは、王のために仕えなければならぬだろう。」



11

王さまのぶどう畑

それを聞いても人々は、やっぱり王さまがほしいと言いはりました。



12

あるとき、神さまはサムエルを1人のわかい男の人に会わせられました。その人は、とてもハンサムで、とてもはずかしがりやで、それにとっても背が高い人でした。他のだれよりも、あたま1つ分くらいは、高いようですよ。その人の名前は、サウル。サムエルが、サウルに会ったとき、主は言われました。「このサウルが、わたしの民イスラエルを支配するだろう。」



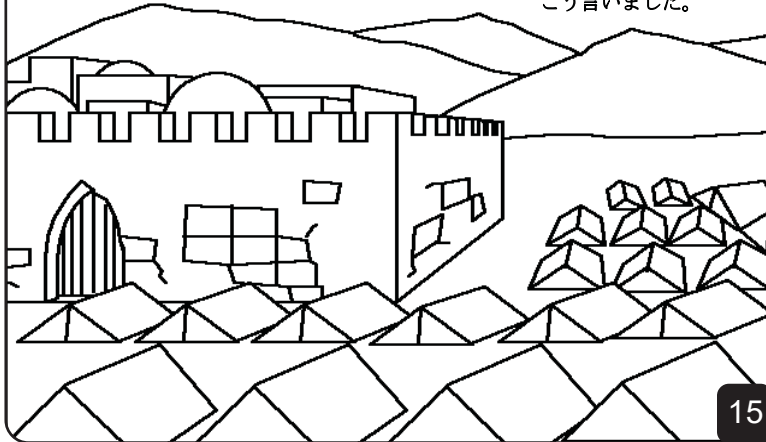
13

サムエルは、主のことばにすなおにしたがって、サウルをイスラエルの王として、かれのあたまに油を注ぎました。そして、サムエルはイスラエルの人たちの前にサウルをつれてきますと、みんなはよろこびさげびました。「ばんざい！ わたしたちの王さまだ！」



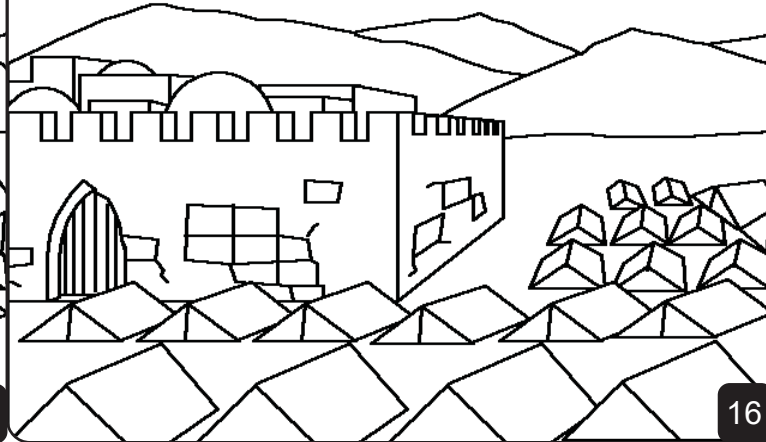
14

それからすぐのことです。サウル王は、さっそくつよい王さまかどうか、
ためされる時がやってきましたよ。イスラエルをにくんでいたアマネク人が、
イスラエルのある町を、取りかこみ、そこに住んでいる人々をおどかして、
こう言いました。



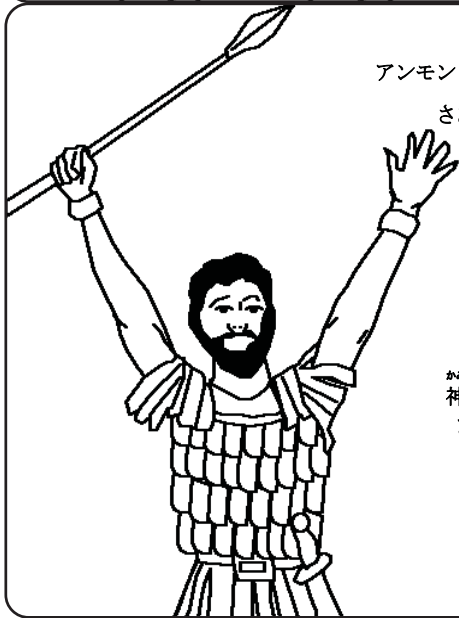
15

「おい！ここに住んでいる男たちみんなの右の目を、くりぬいてやるぞ。」
なんてひどいことでしょう！ そのおそろしい話は、すぐサウル王のところに
伝わりました。サウル王はすぐに軍たいをつくり、たたかう用意をしましよ。



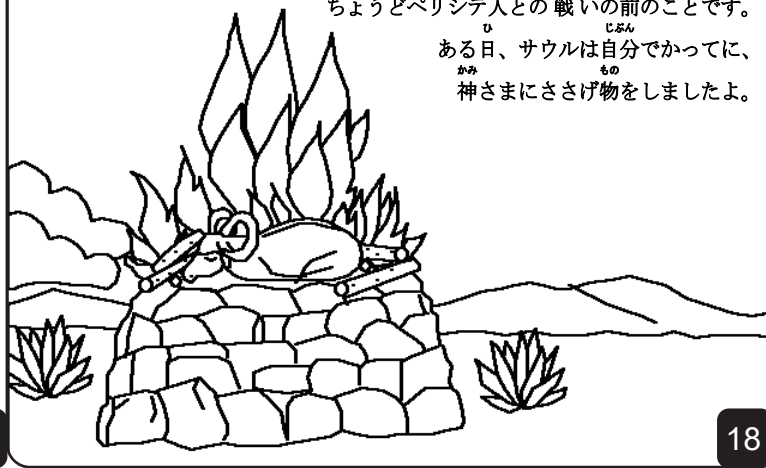
16

こうして2つの軍、
アンモンとイスラエルがたたかいました。
さあ、どちらが勝ったでしょうか。
そう、イスラエルの軍です。
サウル王は、
アンモン人たちをうち負かし、
イスラエルのその町を救うこと
ができたのです。それはね、
サウル王が、
神さまからのつよい霊の力をいた
だいたからなのです。サウルは、
みんなに言いました。「今日、
主がわたしといっしょにいて、
イスラエルを救ってく
ださったのだ！」



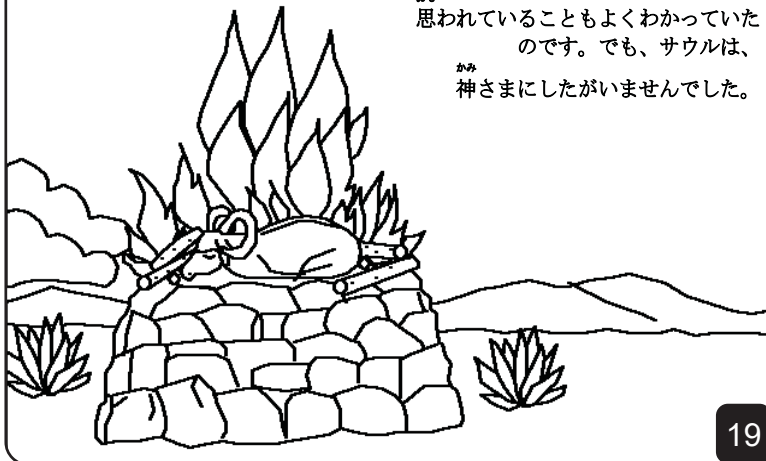
17

そうです。その日、神さまは、サウルにすばらしい勝利をくださいました。
けれども、サウルは、いつも神さまの言われることをだいでし、
したがっていたわけではないのです。
ちょうどペリシテ人ととの戦いの前のことです。
ある日、サウルは自分でかかってに、
神さまにささげ物をしましたよ。



18

じつはね、神さまへささげものをするのは、サウルではなくサムエルがするしごと
でした。そしてサウルは、そのことを、よく知っていたのです。また、
神さまがもうすぐサムエルが来るのでそれまで待つようにと、
思われていることもよくわかっていた
のです。でも、サウルは、
神さまにしたがいませんでした。



19

さて、そこにサムエルがやってきました。かれは、サウルのしたことを
知って言いました。「サウル、あなたはなんておろかなのだ。なんて
バカなことをしてしまったんだろう。なぜ、あなたの神、主とのやく
そくを守るができないのだ。」



20

もうこれからは、あなたの王国は長くつづかないであろう。」
 サウルは自分がしたことは、ほんの小さな罪だと思ったかもしれませんね。
 でもね、決してそうではないのですよ。神にしたがわないことは、どんなときでも、大きな大きな罪なのです。

21

それからしばらくして、神さまはサウルにめいれいしました。「アマレクの人々すべて1人のこらずやつけてしまいなさい。」ところが、このときもサウルとイスラエルの人々は、神さまのめいれいにしたがわず、アマレクのアガグ王を殺さないで生かしておいたのです。

22

かれらは、またウシやヒツジなど役に立ちそうで良さそうなものだけをのこして、自分たちのものにしておきましたよ。これらのものは、主にささげるのだから取っておくのだと言ってね。

23

サムエルは、サウルに言いました。「サウル、神さまにしたがうということは、ささげることよりも、もっとも大切なことなのだ。あなたは、主のことばを聞かなかった。だから主もまた、あなたのことばを聞かれない。あなたは、もうイスラエルの国王でなくなるのだ。」そのとき、サウルは自分がほんとうにまちがったことをしていたことに、気がつきました。でも、もうおそすぎたのです。それからのサウルの人生は、どうなつたでしょう。ちつともしあわせではなかったのす。どうしてって、サウルは主にしたがおうとしなかったからですね。

24

ハンサムな、でも おろかな王さま
 神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。
 サムエル記上 8 章 - 16 章
 あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
 詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっていらっやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。
 神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいまし。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいましたのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。
 もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっやすることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン
 ヨハネによる福音書 3 : 16
 まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！